

数学科教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり	
日 時	令和8年7月10日(金)	
会 場	当別町立西当別中学校	
講 師	谷地元 直樹 氏(北海道教育大学旭川校 教授)	
指導者	角田 旺弘 氏 (当別町立西当別中学校 教諭)	
参加者	34名	
研修会 の 様 子		指導者である角田教諭の公開授業の様子です。各市町村から多くの先生方の出席がありました。 問題や教材が工夫され、既習事項から未習事項を生徒自身が見いだし、「問い」をもたせることで課題提示につなげる授業が展開されました。
		生徒とのやり取りを通して課題を設定し、生徒の考えを引き出そうとする授業が展開されました。生徒は数学的活動を通して主体的に考え、問題解決に取り組む姿が見られました。今回学習したことから次回の学習にどのようなようにつなげるのかも参観者の話題となりました。
		公開授業に関する研究協議の様子です。公開授業の補足説明や参加者との質疑応答が行われ、活発な研究協議となりました。また、講師である谷地元教授にもご意見をいただき、有意義な研究協議となりました。
		数学部会の研究テーマである「思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり」に沿った講演を、谷地元教授に行っていただきました。生徒が自ら考えるためには、授業者が意図をもって介入する場面も必要であることについてご講義いただきました。
		谷地元教授の講義だけでなく、「生徒に〇〇と言われたら、どう答えるか」等をテーマに、参加者同士が和やかに交流する場面もありました。講演では授業改善につながる多くの示唆をいただき、参加者からは「日頃の悩みの解決につながった」といった感想が寄せられ、有意義な研修会となりました。